

中曽根氏100歳の逸話

高崎で弘文氏、康隆氏語る



中曽根元首相について話す(左から)
弘文氏と康隆氏

中曽根康弘元首相が100歳になったことを祝おうと、生家があった高崎市末広町の住民でつくる末広会(秋山章代表)は28日、同

所の青雲塾会館で、長男の弘文参院議員、孫の康隆衆院議員を招いたイベントを開いた。
弘文、康隆両氏は子ども

を含め集まった約80人を前に、元首相の生い立ちや人柄、仕事ぶりなどを紹介。弘文氏は首相としての激務をこなしながら座禅や水泳でリフレッシュしていたとし、「自分の時間を大事にしていた。気持ちの切り替えが上手な人」と表現した。康隆氏は100歳の誕生日に共に食事をしたエピソードを披露。「肉も魚もよく食べる。酒もシャンパン、ビール、赤ワインと」と述べ、会場の笑いを誘った。住民らは地元の祭りばやしを演奏して祝った。元首相は5月27日に100歳の誕生日を迎えた。